

1 次の各文は、ア「体験を表す文」、イ「感想を表す文」のどちらですか。記号で答えましょう。

- (1) 夏休み、両親や兄と、海に行った。
- (2) 真夏日がつづいた。
- (3) 砂浜で遊び、海で泳いだことが楽しかった。
- (4) 帰りは車の中でねむってしまった。
- (5) また、遊びに来られたらうれしい。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

アドバイス

●体験したこと、感想を表す文

まず体験したことをわかりやすく書き、その体験をとおして感じたことをまとめるのが基本的な書き方です。

- ① 体験したこと  
体験したことをよく思い出しましょう。特に印象に残ったことを中心に、読み手に様子がわかるようによく詳しく書きます。
- ② 体験をとおして感じたこと（感想）  
気持ちが読み手に伝わるように、書き方を工夫しましょう。

2 次の文が、意見のはっきりした文になるように、あとの□から最もふさわしい言葉を一つずつ選び、「」に書きましょう。

- (1) 生活リズムを整えることは、健康によいことだと
- (2) 新しい世界を広げるためには、本を読むのがよい
- (3) ろうかを走るとけがをすることもあるので、ろうかを歩くルールを守って

ほしい 思う だろう

3 次の文は、ア「体験を表す文」、イ「考えを述べる文」のどちらですか。記号で答えましょう。

- (1) 宿題を終わらせてから、遊びに行くべきだ。
- (2) 休日は図書館へ本を借りに行った。

アドバイス

●自分が考えたことについて、文を書く

意見がはっきりするように、ふさわしい言葉を選びましょう。意見を表す文は、文末が「〜と思う」「〜だろう」「〜ではないだろうか。」などの形になります。

4 例にならって、次の文の□にあてはまる言葉を「まるで〜のよう」に」というたとえの表現を使って、自由に書きましよう。

例 あたたかい風は、□ わたしの体を包んでくれた。

まるでもうふのように

□ (1) 海は、□ かがやいていた。

□ (2) 雪が降って、□ 寒かった。

5 次の文の——線部を、指示にしたがって、様子が生き生きと伝わるような表現に書き直ましよう。

□ 夏休みに家族全員で旅行に行くことになったと母が言った。

(母の表情がわかるように書く。)

アドバイス

●書き方をくふうする

① 様子がわかるように、たとえを使って書く

たとえを用いることで、読み手は様子を印象的に想像することができまよう。

② 気持ちや様子を生き生きと表す

具体的に書くことで、読み手は様子を目の前で見ているかのように想像できまよう。

6 次の文章を読んで、あとの問いに答えましよう。

わたしは、職場体験学習で、コンビニエンスストアに行きまました。まず、商品の並べ方を教わりまました。賞味期限が近いものを手前に並べ、期限が過ぎたものは捨てることを知りまました。お昼の時間は、近くで働いている人たちがたくさん来て、レジの前に行列ができました。教えてもらいながらバーコードを読み取りまました。次から次へとお客さんが来て、目が回るようでした。商品を並べる、レジを打つ、お客さんの対応をする、お店がいつも清潔であるようには、足がまるで棒のようでした。終わったときだれにでもできそうと思っていたこの仕事には、多くの仕事をこなす手際のおよさと、体力が必要だと思いまました。

□ (1) たとえを使って書かれてる部分を二つ書きぬきましよう。

□ (2) この体験をとおして、「わたし」が考えたことを書きましよう。

アドバイス

●体験したことについて、考えたことをまとめる文章

体験したことをわかりやすく書き、その体験をとおして考えたこと（意見）を書いて、まとめまよう。体験が意見の根拠（そう考える理由）となり、説得力のある文章になります。



